

### 主な内容

◆議案審議	1面
◆議会の動向	2面
◆代表質問	2・3面
◆陳情・意見書	3面
◆予算審議	4・5面
◆一般質問	6・7面
◆審議結果一覧表	8面
◆6月定例会日程	8面

## 3月定例会

# 平成29年度予算を 審議・原案可決

3月定例会は、2月23日から3月23日までの29日間の会期で開催されました。この定例会では、平成29年度各会計予算や条例の制定など市長提出議案等30件(うち、報告5件)のほか、議提議案3件を審議しました。



表丹沢の山並みを背景に咲き誇る県立秦野戸川公園のチューリップ

議

案

審

議

### 上幼稚園を上小学校内へ移転 地域の特性を生かした学校づくりへ

議案第13号 秦野市立学校の設置に関する条例の一部を改正することについて

#### ▼要旨

上幼稚園を上小学校の校舎内へ移転し、施設を一体化することに伴い、同幼稚園の位置を変更するため、改正するもの。

なお、この条例の施行日は、平成29年4月1日とするもの。

#### ▼付託委員会

文教福祉常任委員会

#### ▼委員会での主な質疑・意見

問 上地区の園児や児童数の減少を踏まえ、地域の特性を生かした学校づくりを進めるため、上幼稚園を上小学校の校舎内へ移転する

### 名水はだの富士見の湯 指定管理者が決定

議案第17号 指定管理者の指定について

#### ▼要旨

名水はだの富士見の湯の指定管理について事業者を公募し、外部委員で構成する選定委員会にて選考した候補事業者を指定管理者として指定するもの。

なお、指定期間は、平成29年10月1日から32年9月30日までの3年間とするもの。

#### ▼付託委員会

環境都市常任委員会

#### ▼委員会での主な質疑・要望

問 候補事業者から提出された事業計画書に、魅力あふれる多くの提案が記載されているが、その実効性はどのように確認するのか。

答 今後交わす管理に関する協定書に、提案の実効性を明記することと担保するほか、名水はだの富

このことだが、施設の一体化による新たな取り組みはどのようか。

答 全ての園児に給食を提供するとともに、教育時間終了後における一定の集団性確保という観点から、小学校の児童ホールと同じ部屋で幼稚園の一時預かり事業を行う。今後は連携を一層進める中で、新たな学校づくりを目指していく。

問 施設の一体化により、幼稚園の跡地を有効に活用する必要があると考えるが、今後の方向性はどのようなか。

答 関係機関の利用を含め、庁内各課などに利用希望の調査を行ったが、特に希望がなかったため、当面は教育委員会で利用し、いじ

士見の湯条例に規定している実地調査を必要に応じて行っていく。  
要望 地元還元施設という位置付けもあることから、事業者優先の運営とならないよう管理・監督をし、また、議会も並行して確認できる方法を検討してほしい。

問 候補事業者は、他の自治体でごみ焼却施設の余熱を利用した類似施設を指定管理者として運営しているが、その実績はどのようか。

答 平成28年4月から指定管理者として運営しているが、27年度と比較すると月平均で、利用者は約600人、売店の売り上げなどの収益は約42万円増加している。

#### ▼議員間討議

論点の要旨  
指定管理者選定に当たってのプロポーザル評価得点は70点である。この点数で地元還元施設として適

め・不登校への対応などに役立てる施設として活用していきたい。  
意見 今後は、行政改革や公共施設再配置などの政策的な問題を含めた上で、長期的な視点に立った全庁的な議論を行い、方向性を決定める必要がある。

#### ▼採決の結果

委員会 原案可決(賛成全員)  
本会議 原案可決(賛成多数)

切に運営し、一層の集客を図れるかという点について議論したい。  
意見 プロポーザルに参加した事業者が2者という点には多少疑問が残るが、提案内容を比較・検討し、点数が高い方を選定したため、適正であると考えられる。  
意見 専門分野が異なる委員がどちらの提案が優れているかを比較しながら点数を付け、積み上げた得点であり、合計点のみで経営能力が低いと判断することは難しい。  
意見 市が運営するよりも、実際に類似施設を運営している候補事業者の方が、成果を期待できる。

▼本会議での賛成討論  
評価項目に一層の集客を図るための自主事業のプランを用意していることとあり、この候補事業者の方が落選した事業者よりも新たな集客やニーズを掘り起こす可能性が高いことを期待する。

#### ▼採決の結果

委員会 原案可決(賛成全員)  
本会議 原案可決(賛成多数)



地域の特性を生かした学校づくりを(写真は上小学校)